

アンケートから見てきた「深刻な非正規公務員ハラスメントの実態」

広島大学ハラスメント相談室 准教授 北仲千里

調査の方法とその特質について

本アンケートは、会合の場や、メール、SNSなどで雪だるま式に、公務職場で非正規で働いている人や働いていた人に協力を呼びかけ、インターネット上のアンケート受付集計システムにアクセスしてもらい、回答を集めた。アクセス数641のうち、IPアドレスと回答内容から、同一回答者のものと思われる回答や、最初のログインだけで、主な設問には回答せずにやめてしまった回答などを除外したところ、有効回答数は531となった。

この調査は、対象となる人々の母集団からサンプルを無作為抽出したものではなく、アンケートに答えたいという意向がある人(例:非正規公務員のおかれた現状が問題だと感じている人、ハラスメントや差別を経験した人など)が比較的多く答える可能性があるため、ハラスメントの経験割合などの数値を、そのまま、全非正規公務員のうちの経験割合を表すものとは言えない。また、回答者の性別や年齢割合、職種や任用先の割合も同様に、実態をそのまま反映した値として扱うことはできない。このような限界はあるものの、有効回答票の回答内容に矛盾はほぼ見られず、職種無回答者はいないなど、かなり真面目に答えられた回答者が多く、信頼しうるデータと思われる。したがって、本調査結果は、回答内容の構成や設問どうしの関連などの面において、興味深い情報が得られる貴重な結果であると言えるだろう。

回答結果集計 速報値 (今回は、一部の設問の結果を、公表しているものです。)

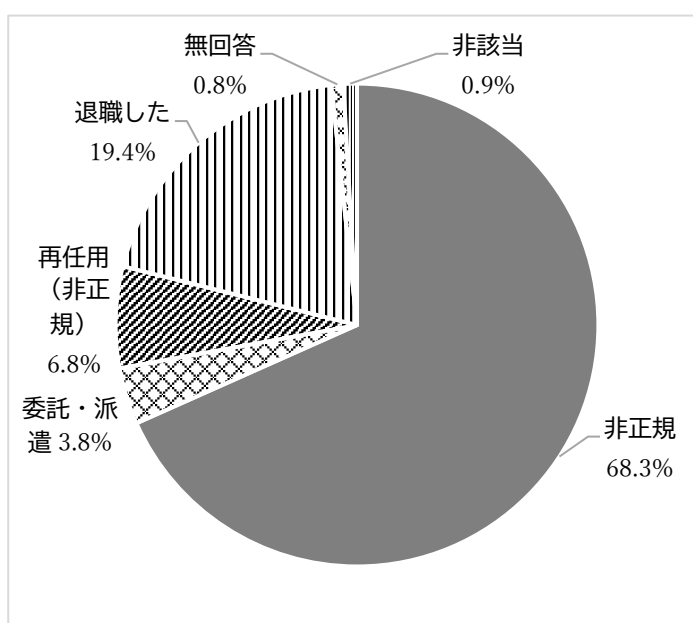
1. 回答者の主な構成

全国各地域から、国・都道府県・市区町村それぞれに雇われた非正規職員からの回答を広く集めることができた。任用先では、特別区や市で勤務した回答者が約半数である。女性が約85%を占める。職種では事務系が約4割で最も多いが、こちらの想定した各分野(福祉、医療、教育、保育、図書、学芸員など)様々な職種からの回答を得ることができた。1ヶ月に16~25日は勤務している人、社会保険に入っている人が約8割おり、勤務年数が長い人も少なくないなど、短時間・臨時雇用としての「パート、アルバイト」ではなく、職務を中心的に担っている、いわゆる「フルタイム非正規」が多数存在していることが実感できるような回答者の構成となっている。

(値は%、n=人数)

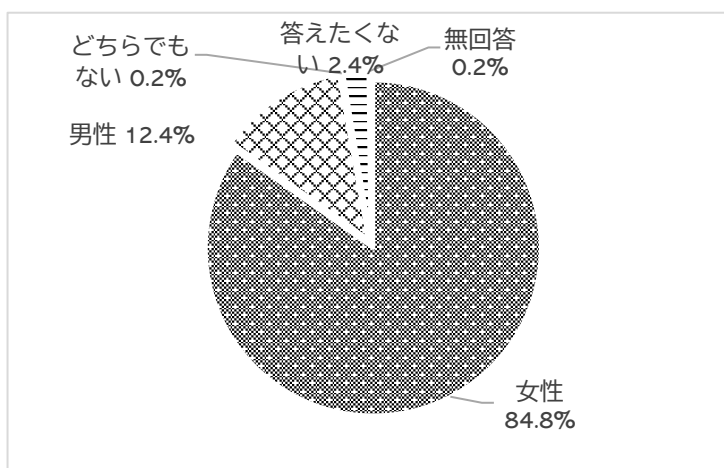
Q1 雇用形態

	%	n
非正規	68.4	363
委託・派遣	3.8	20
再任用(非正規)	6.8	36
退職した	19.4	103
無回答	0.8	4
非該当(正規、自営など)	0.9	5
合計	100%	531



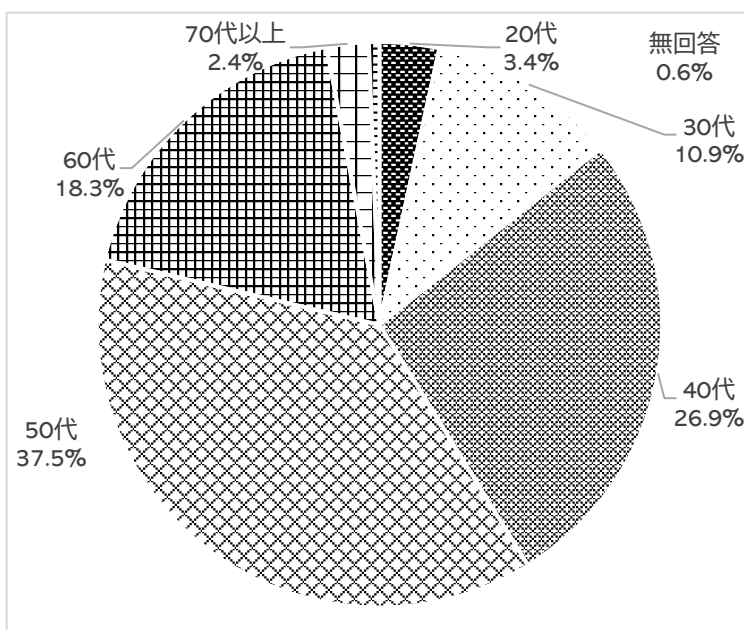
Q2 性別

	%	n
女性性	84.7	450
男性	12.4	66
どちらでもない	0.2	1
答えたくない	2.4	13
無回答	0.2	1
合計	100%	531



Q3 年齢

	%	n
20代	3.4	18
30代	10.9	58
40代	26.9	143
50代	37.5	199
60代	18.3	97
70代以上	2.4	13
無回答	0.6	3
合計	100%	531



Q6 お住まいの地域

	%	n
北海道・東北	7.7	41
東京・千葉・埼玉・神奈川	40.9	217
関東甲信越(東京.千葉.埼玉.神奈川 以外)	10.9	58
東海・北陸	10.0	53
近畿	11.9	63
中国・四国	7.2	38
九州・沖縄	11.2	59
無回答	0.4	2
合計	100%	531

Q7 職業

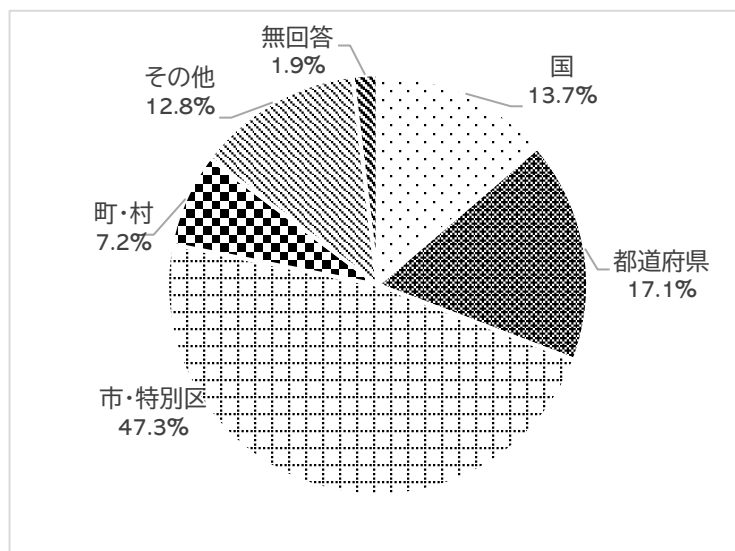
	%	n
事務職	31.3	166
福祉職	10.0	53
婦人相談員・DV相談員等	4.1	22
医療従事者	3.6	19
教員・大学教員	5.6	30
スクールカウンセラー等	2.8	15
保育・学童保育	6.6	35
学校職員	7.2	38
学芸員等	1.5	8
図書館司書等	6.2	33
社会教育関係	3.2	17
建築土木専門職	0.9	5
労務職	1.3	7
研究補助職	0.6	3
地域関係・指定管理	0.9	5
国の事務・相談員	10.7	57
その他	3.4	18
合計	100%	531

Q8 勤務年数

	%	n
1年未満	8.8	47
1年以上～3年未満	14.7	78
3年以上～5年未満	14.5	77
5年以上～8年未満	12.1	64
8年以上～10年未満	9.4	50
10年以上～13年未満	8.3	44
13年以上～15年未満	4.3	23
15年以上	12.4	66
退職者等非該当	14.7	78
無回答	0.8	4
合計	100%	531

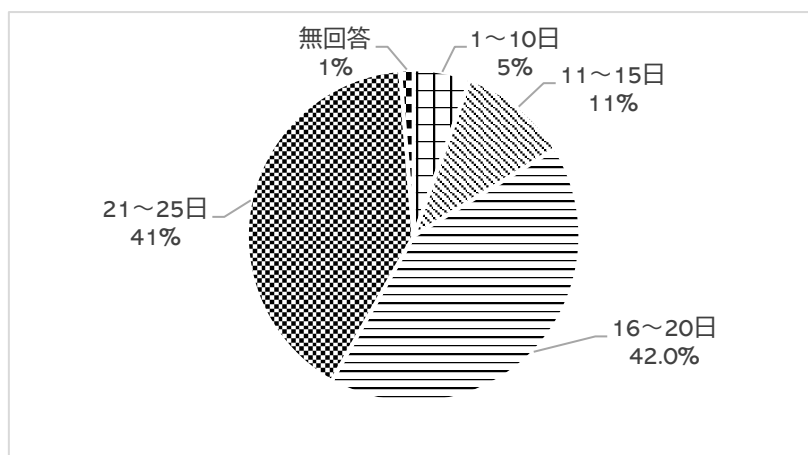
Q15 任用先(雇用主)

	%	n
国	13.7	73
都道府県	17.1	91
市・特別区	47.3	251
町・村	7.2	38
その他	12.8	68
無回答	1.9	10
合計	100%	531



Q9勤務日数(1月あたり)

	%	n
1～10日	5.5	29
11～15日	10.7	57
16～20日	42.0	223
21～25日	40.5	215
無回答	1.3	7
合計	100%	531



2. 正規職員ではない立場から見た職場環境

職場の働きやすさや「話し合いができる関係かどうか」などについては意見が分かれたが、「自分の職場で正規・非正規が対等である」と考える人は非常に少なく、特に「フルタイム非正規」(非正規、委託・派遣、退職した非正規職員、再任用の回答者除く)の回答者では(対等であると)「思わない」83.6%と、その意見がいつそう強い。また、ハラスメントや差別を経験した人は非常に多く、全回答者の69%、「フルタイム非正規」の77%が「経験した」と答え、「何度も受けた」という人が全回答者の46%を占めている。そのハラスメントや差別によって、職務遂行への悪影響や、体調悪化が多くみられ、退職を考えた人が約半数、実際に退職したり休職したりした人がそれぞれ被害者の4人に1人、いることがわかった。

Q16.働きやすい環境ですか

	%	n
はい	33.1	176
いいえ	26.9	143
どちらともいえない	39.0	207
無回答	0.9	5
合計	100	531

Q17.話し合いができる環境ですか

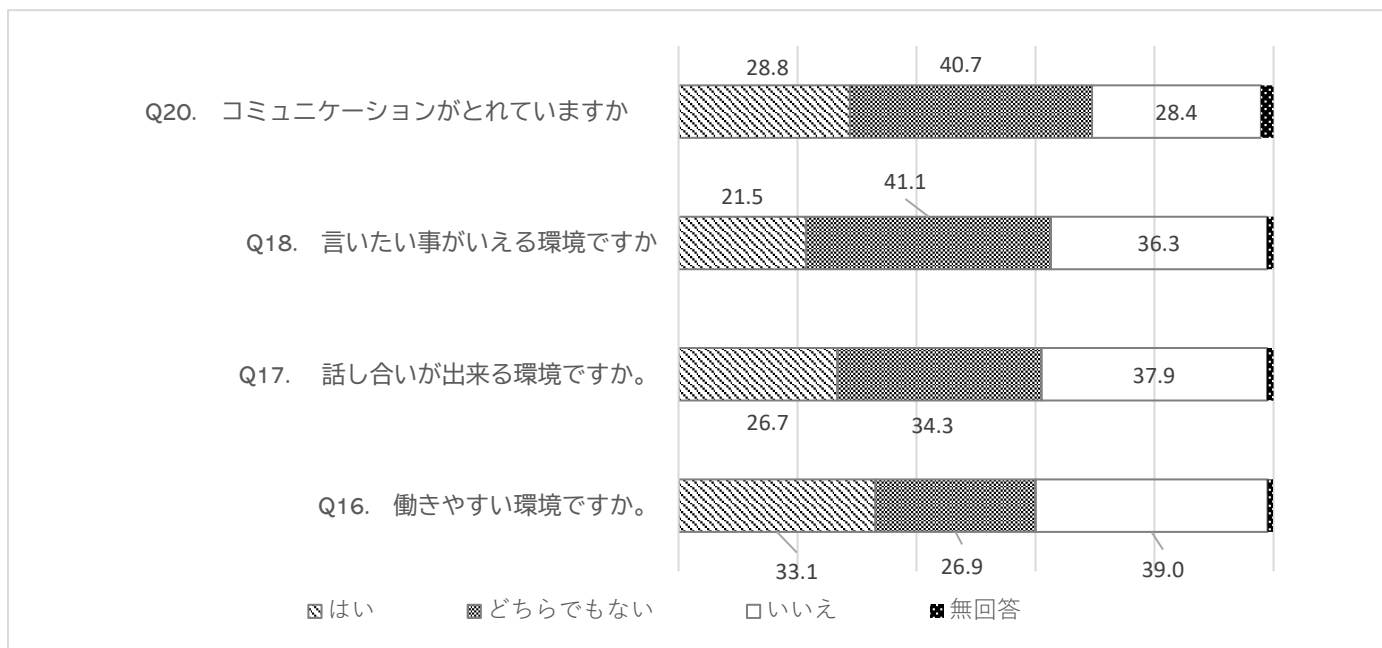
	%	n
できる	26.7	142
できない	34.3	182
どちらともいえない	37.9	201
無回答	1.1	6
合計	100	531

Q18. 言いたい事がいえる環境ですか

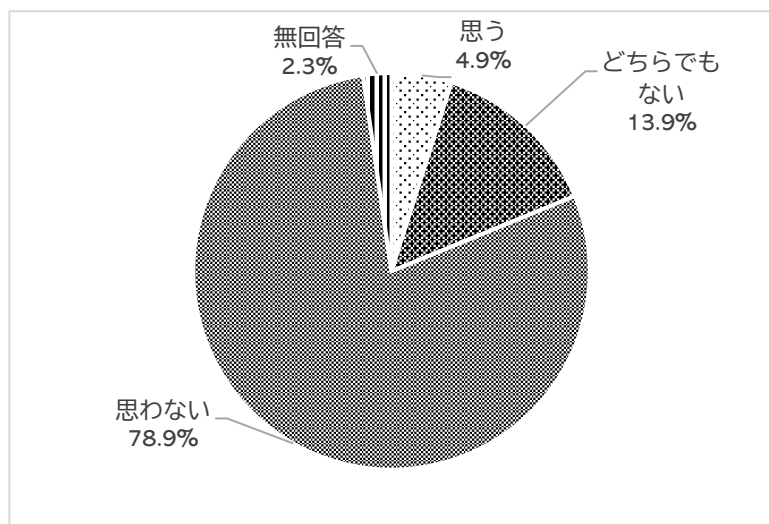
	%	N
はい	21.5	114
いいえ	41.1	218
どちらでもない	36.3	193
無回答	1.1	6
合計	100	531

Q20. コミュニケーションがとれていますか

	%	N
はい	28.8	153
どちらでもない	40.7	216
いいえ	28.4	151
無回答	2.1	11
合計	100	531



Q19あなたの職場では、正規職員と非正規とが対等であると思いますか。



	%	n
思う	4.9	26
どちらでもない	13.9	74
思わない	78.9	419
無回答	2.3	12
合計	100	531

*いわゆる「フルタイム非正規」の回答者(社会保険に入っている、非正規・委託・派遣・退職)

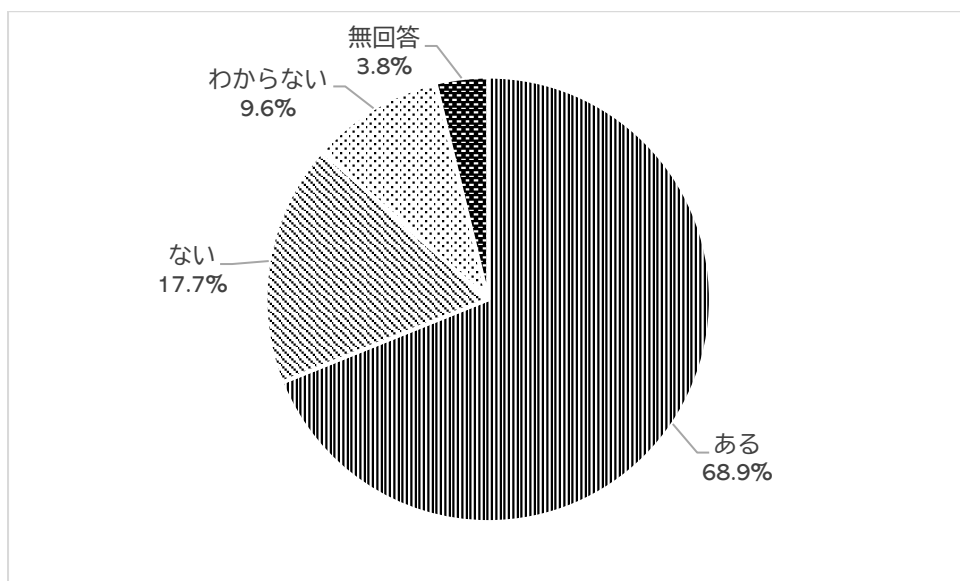
(対等であると)「思わない」 83.6%

Q23.非正規公務員として働いてきた中でハラスメントや差別を受けたことがありますか。

いわゆる「フルタイム非正規」の回答者 ハラスメントや差別をうけたこと「ある」 77.0%

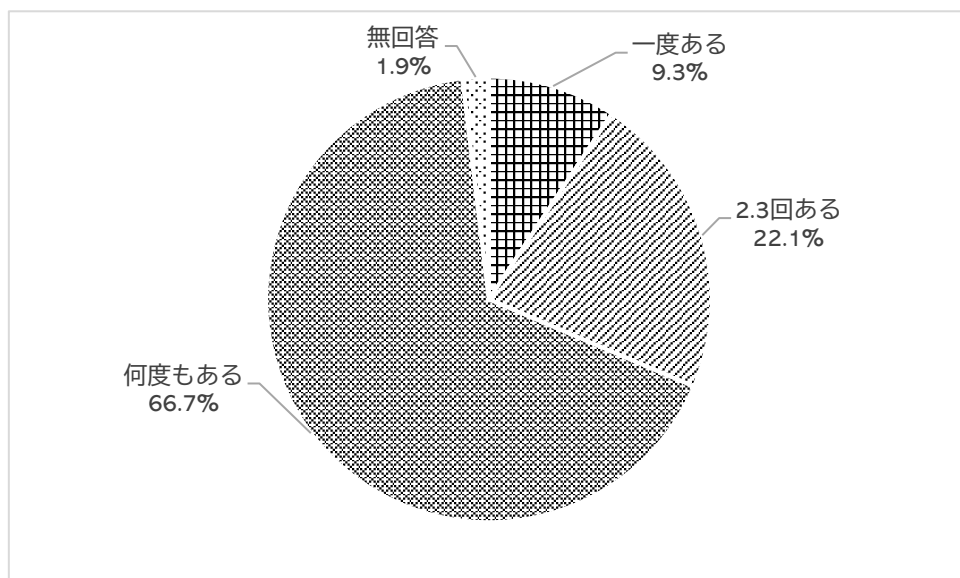
	%	n
ある	68.9	366
ない	17.7	94
わからない	9.6	51
無回答	3.8	20
合計	100	531

女性の72.4%、男性の67.7%、全体で68.9%が「ある」



受けた回数

	%	n
一度ある	9.3	34
2.3回ある	22.1	81
何度もある	66.7	244
無回答	1.9	7
合計	100	366



Q24. そのハラスメントや差別の影響としてあなたに起きたこと（複数回答）

	%	n
何かと否定的に考えるようになった	53.6	196
思考力・判断能力の低下	50.5	185
退職を考えるようになった	50.3	184
眠れない	44.8	164
効率・スピードが落ちた	40.4	148
体調不良により職務が遂行できなくなった	31.7	116
職場に行こうとすると頭痛・腹痛などが起きる	29.5	108
仕事を休んだ	26.5	97
退職した	24.0	88
食欲不振	23.2	85
下痢	17.5	64
致命的なミスをした	6.6	24
脱毛	5.7	21

3. 一番重大なハラスメントの経験について(1)

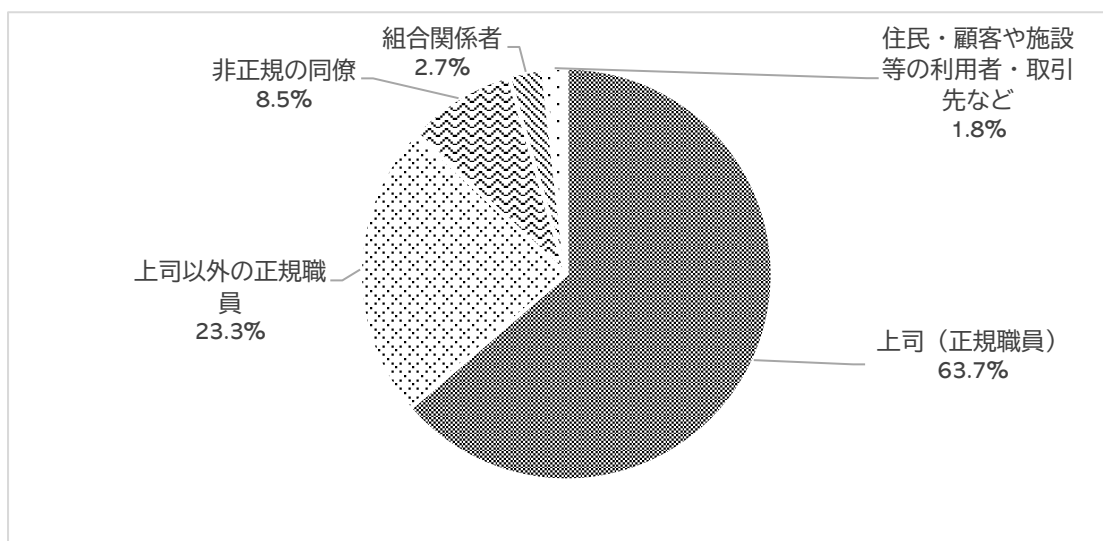
Q26 今まで受けた中で一番重大なハラスメントや差別を、1つだけ選ぶと

	%	n
複数のハラスメントが合わさったもの	28.4	95
パワー・ハラスメント(非正規を理由としたものも含む)	62.4	209
セクシュアル・ハラスメント(ストーキング含む)	3.3	11
妊娠や出産に関わるハラスメント	1.2	4
性的指向や性自認にかかわるハラスメント	0.3	1
性別、国籍、民族、出身地などに基づく差別	1.5	5
年齢に基づくいじめや差別	1.2	4
学歴や出身校などによる差別	1.8	6
合計	100%	335

そのハラスメントや差別経験をより深く知るため、「非正規公務員として働いてきた中でハラスメントや差別を受けたことがある」と答えた366人に対して、「その中で一番重大なハラスメントや差別」を一つだけ選び、追加の質問を行った。最も多い内容は、非正規を理由としたことも含めたパワー・ハラスメントが62.4%であり、次いで「複数のタイプのハラスメントが合わさったもの」28.4%となっている。加害者は正規職員の上司が多く、次いで上司以外の正規職員からのもので、相手の性別は男女ほぼ同じである。

Q28. それは、誰からのハラスメントですか

	%	n
上司(正規職員)	63.7	211
上司以外の正規職員	23.3	77
非正規の同僚	8.5	28
組合関係者	2.7	9
住民・顧客や施設等の利用者・取引先など	1.8	6
合計	100	331



Q29 その人の性別は

	%	n
男性	39.8	135
女性	34.8	118
複数の人たち	25.4	86
合計	100	339

Q34.その(一番重大な)ハラスメントや差別を受けている時にあなたが感じたことや、あなたに起こったこと (% ()内=n)

	当てはまる	少し当てはまる	計(n)
仕事のモチベーションが下がった	77.9% (257)	16.7% (55)	330
職場の人たち全体への不信感が生まれた	63.5% (207)	24.5% (80)	326
職場で孤独を感じた	63.0% (206)	19.3% (63)	327
職場で恥や引け目を感じた	53.2% (174)	23.2% (76)	327
ハラスメントを受けるのは、自分が悪い・自分の責任と感じた	17.5% (57)	27.9% (91)	326

それらの被害を受けて、「自分が悪い」と感じた人は比較的少なく、しかし、モチベーションの低下や不信感、孤独などを

多くの人が感じたと答えている。被害経験者の約 7 割の人が体調悪化があったと答え。経験者の 31.4%が病院を受診し、23%が何らかの診断が出たという。また、被害経験者の 10.1%(37 人)が実際にそれで休職し、この他にも、「休職しなかった」とする回答者が存在する。休職した人のうち、復職した人は約 4 割、休職後退職した人も約 4 割である。

Q35 そのハラスメントを受けて体調に変化が悪化することがありましたか

「はい」 68.9% (n=252)

→ その内、「受診した」 45.6% (n=115) 366 人中 31.4%

「持病の悪化で受診した」 9.2% (n= 23)

受診をされて何らかの診断が出ましたか？

→ 診断が出た n=84 366 人中 23.0%

→ 休職した n=37

休職しなかった、させてもらえなかった n=16

休職した回数

	%	n
1 回	62.2	23
2~5 回	32.4	12
無回答	5.4	2
合計	100%	37

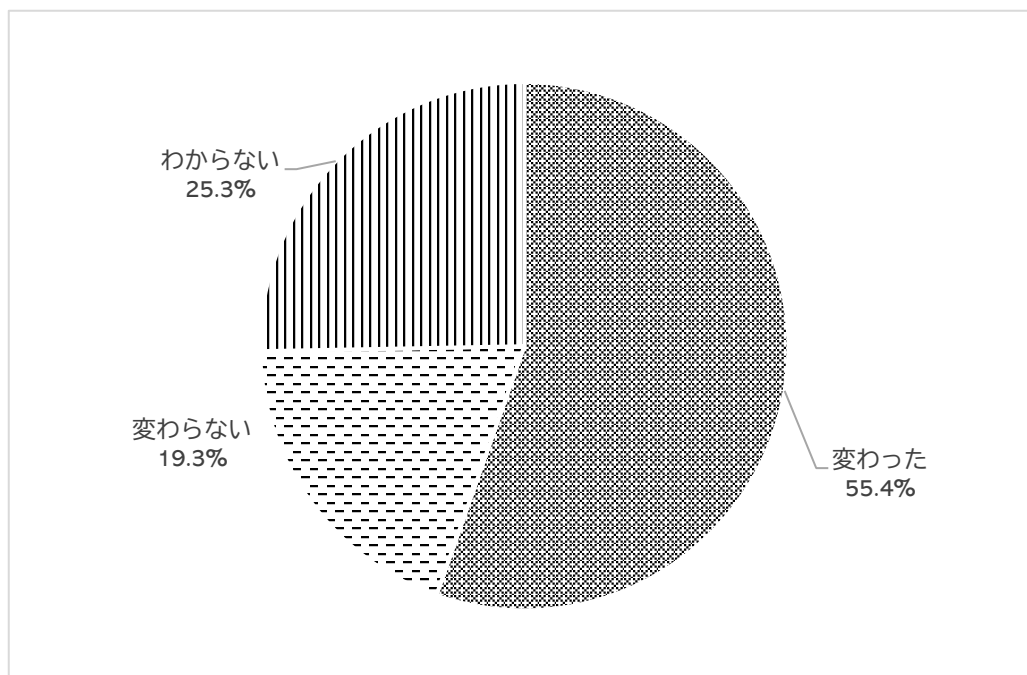
休職後、復帰しましたか

	n
復帰した	15
復帰しなかった	6
休職継続中(保障あり)	1
退職をした	14
合計	36

Q37 そのハラスメントや差別を受けたことで、あなたの人生は変わりましたか

	%	n
変わった	55.4	175
変わらない	19.3	61
わからない	25.3	80
合計	100	316

休職した人の中では、83.8%(31人)が、「人生が変わった」と答えている。



3. これまでの差別・ハラスメント経験(2)

次に、再度全員に対して、具体的な例を挙げて、差別・ハラスメント等被害経験を尋ねた。最も多く経験されていたのが、「非正規であることに関わる、非正規を理由とした」不当な扱いで、同時に、パワー・ハラスメントの被害も多い。セクシュアル・ハラスメント被害は、パワー・ハラスメントよりは少ないが、中にはかなり深刻な被害も存在する。

Q39. ①パワー・ハラスメントの経験 (多い順 10%以上の経験率のもの)

	%	n
仕事のやり方について何も教えてもらえなかった	28.1	149
納得できない理由でやった仕事について否定された	27.7	147
人格を否定される言動があった	27.5	146
仕事上大切な情報をわざと教えてもらえなかった	26.4	140
必要以上に叱責された	23.9	127
他人のミスを自分のせいにされた	18.5	98
できない程の量や内容の仕事をやるように指示された	18.1	96
聞こえる様に悪口をいわれた	17.5	93
仲間外しをされた	16.0	85
自分にだけ仕事を与えてもらえなかった	15.4	82
舌打ちをされた	13.7	73
目の前で机や物にあたり威嚇された	13.6	72
悪い噂を流された	13.4	71
ミスをみんなの前で笑いものにされた	12.4	66

Q39. ②セクシュアル・ハラスメント

	%	n
私生活を詮索されたり、恋人の有無を尋ねられた	16.0	85
年齢、容姿、服装に関する話題がよく出された	15.4	82
「女のくせに」「男のくせに」などと性別に結び付けて批判された	10.4	55
飲み会などでお酌を強要されたり、異性の隣に座らされたりした	10.0	53
性的な話題を聞かされた	6.6	35
飲み会などで、下品な行為をさせられたり、見せられたりした	5.3	28
あなたの性体験や性関係に関することを話題にされた	4.0	21
気持ち悪い性的な内容の SNS メッセージや、ショートメール、メールなどが送られてきた	3.2	17
望まないのに抱きつかれたり、身体を触られたり、キスをされたりした	2.6	14
しつこく交際を求められたり、私的な電話やメールをされたりした	1.5	8
性行為に誘われた	1.3	7
トイレや更衣室を覗かれたり、盗撮されたりした	0.9	5
無理やり性行為をされた	0.8	4

Q42. 非正規であることに関わる不当な扱いやハラスメント

	%	n
正規職の仕事を任された	49.3	260
仕事に必要な情報を(非正規だから)教えてもらえない	40.0	211
「非正規さん」「会計さん」「非常勤さん」「臨職さん」などと呼ばれる	33.0	186
何かと非正規だからと言われる	32.8	174
会議資料・研修資料が渡されないことはある(非正規だから)	27.9	147
仕上げた仕事を正規職に取られた	27.7	146
会議やミーティングがある事を知らされない	26.4	139
仕事に必要な資格を自費で取得した	23.7	125
業務に必要な研修を非正規だから自費で行かなければならないことがあった	19.4	102
職員や市民の前で怒鳴られる	15.2	80
非正規を理由に歓送迎会等の課の行事に参加できなかった	13.3	70
自分だけ、明らかにシフトを減らされる	7.2	38

まとめ

公務職場の非正規職員は、雇用恵沢面での不利益だけでなく、ハラスメントの被害も受けている。非正規公務員が経験する、通常のパワハラやセクハラだけでなく特有のハラスメントがあり、それは、名前と呼ばれず「パートさん」と呼ばれる、下に見られるなど、職場の人たちからの態度や扱いの差や、職務の割り振り、職場環境における理不尽な扱いなどが含まれる。「対等な関係にない、正当な扱いをされていない」と回答者は感じている。

非正規公務員が経験するハラスメントの影響は深刻であり、少なくない人が体調悪化や、休職、退職などの影響が出ている。

ハラスメントによる体調悪化や休職は、正規職員とは異なり、退職する、雇用契約を更新しないなどの結果になることがあり、一層問題がなかったことにされる、見えない問題となってしまう。